

## つるがしま里山サポートクラブ 活動報告書（令和5年度）2023

活動日時	月	日	曜日	開始	終了	場所	会員参加数
	4	22	土	8:30	12:00	五味ヶ谷市民の森	23名
活動名称	家族で楽しむタケノコ掘り体験会 その1					報告者：吉井 優	

### 1、活動目的

竹林整備の一環として、タケノコの駆除活動（適正本数管理）を行っている。これをイベントに変えたのが「家族で楽しむタケノコ掘り体験会」です。昨年に続き、4月と5月に1回ずつ開催し、不要なタケノコをできるかぎり、駆除できるよう企画する。また、日常めったにできない自然体験として、掘ったタケノコをそのまま焚火で焼く大名焼きを実施し、竹林の面白さをアピールしたい。

### 2、活動内容ほか

今年是不作の年で、タケノコの発生が少ないのに加え、4月初旬に大量に盗掘され、活動日には、参加家族数が確保できなかった。地主の滝嶋さん敷地のタケノコを提供していただき、無事に、参加の全家族がタケノコ掘りを体験することができた。

4月22日は、34家族106名の参加者により、タケノコ掘り体験会を実施した。全員集合して、開会セレモニーを行った後、竹林での竹の種類と竹の生態についてレクチャーした。

9:45ごろからタケノコ掘りを開始し、家族ごとにショベルを使って、深く孔を掘り、根元を切断してタケノコを掘る作業に没頭した。杉下支え合い協議会、一二三富の会、おやこ劇場から協力をいただき、子どもたちやお母さんが苦勞している現場では手伝い、参加者全員が楽しくできるようスタッフも活躍した。食べごろの小ぶりなタケノコを、掘ったらすぐに焚火で大名焼きにして、美味しく食べることができた。

### 3、評価：

今年是不作の年で、1家族1本を基準に体験したため、丁寧に根っこまで掘り進み、赤い点々で切断する理想的なタケノコ掘り体験となった。大名焼きもやや灰汁が少々残ったようだが、初めての体験に、興味津々で満足していたようです。

### 4、課題

当初、一家族1本ぎりぎりのタケノコ本数で、スタートしたため、掘ったタケノコのなかから、大名焼きの素材を調達したため、自分で掘ったタケノコを持ち帰れない事態も発生した。来年は、参加家族と別に大名焼き用のタケノコをスタッフが掘るようにしたい。

ただし、本日4/29に竹林を確認したところ30cm未満のタケノコは、7本でした。盗掘された跡、折り倒した跡は、ふんだんに見つかり、前回のタケノコ掘り体験会から1週間の間に、相当の本数が盗掘されたようです。あと1週間は、長期休暇で、市民の森を訪れる人が増えると、盗掘制御になります。はたしてどうなるか。また瀧嶋さん敷地には9本見つかり、5/5には10本以上確保は問題ないと思われます。

突然の思いつきで、若葉交番に竹林のパトロール依頼に行きました。さっそく、29日から五味ヶ谷市民の森の見回りをしてくれたようです。これが功を奏し、タケノコ盗掘の抑止につながってくれることを期待します。4月初旬から依頼していればと後悔しています。

<里山参加会員>

風祭、鈴木寿、柳川、石黒、小澤邦、阿部、柏木、小沼、田中、吉富、木部、  
佐野和、佐野英、橋本、坂木、上見、小嶋、吉井、小澤弘、杉山、牛島  
大森、石川

<活動写真>

